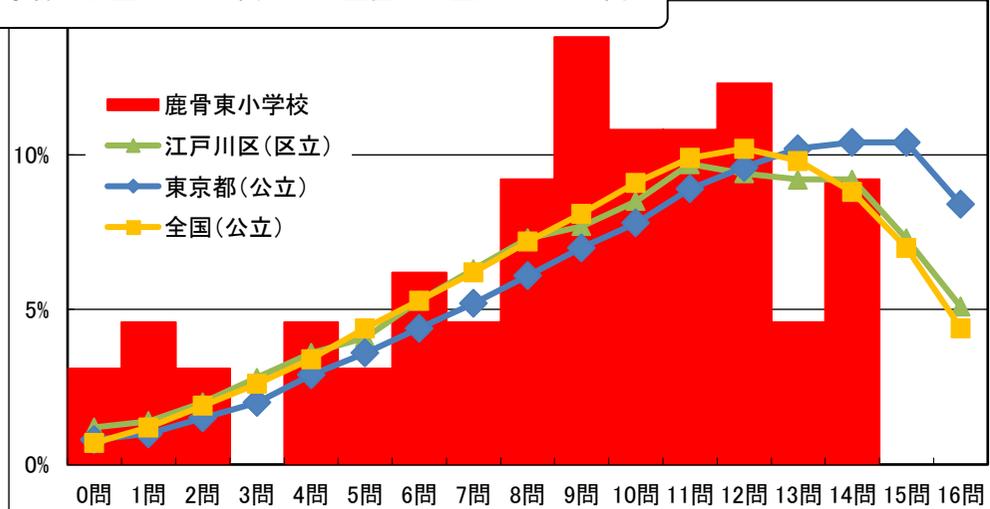


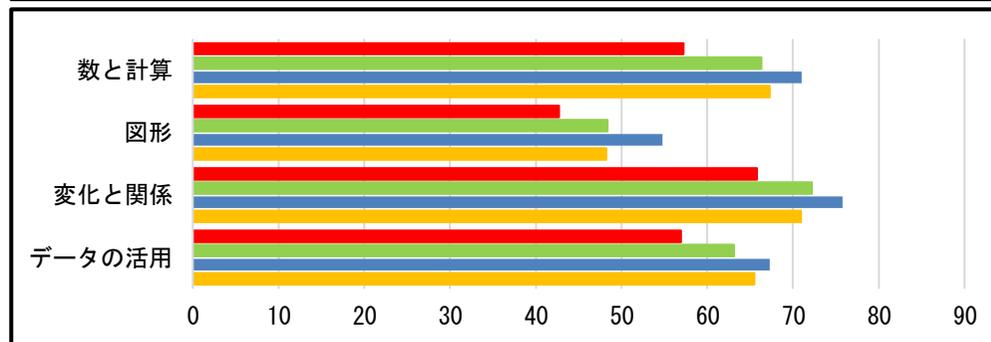
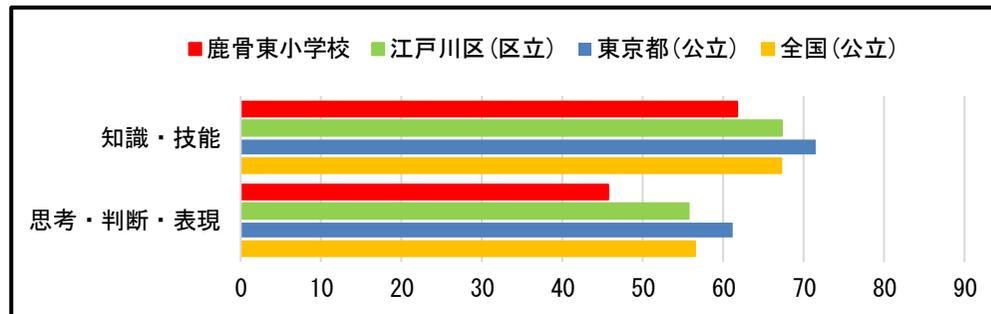
令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 鹿骨東小学校

正答数分布

平均正答数
鹿骨東小学校：8.8問
 江戸川区（区立）：10.0問
 東京都（公立）：10.7問
 全国（公立）：10.0問



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

算数	四分位			
	A層 14~16問	B層 11~13問	C層 8~10問	D層 0~7問
鹿骨東小学校	9.2	27.7	33.8	29.3
江戸川区(区立)	21.6	28.3	23.5	26.6
東京都(公立)	29.2	28.7	20.9	21.2
全国(公立)	20.2	29.9	24.4	25.5

【平均正答率の差】

鹿骨東小学校	55%
江戸川区(区立)	62%
東京都(公立)	67%
全国(公立)	62.5%
都との差	12ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

他と比較してA層は少ない。B層はほぼ他と同率である。CD層が過半数を超え、合計63.1%であるが、昨年度の79.2%から大きく減った。また、「思考・判断・表現」が10.8%、「記述式」が12.7%、正答率で全国平均を下回っている。

継続して基礎、基本の習得を目指すと共に、問題文を式にしたり、自身の考えを表現したりすることを授業内で意識的に入れていき、児童が考えを表現することへの抵抗を少なくなるようにする。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。